



ブルーフロンエコDX MID

「ブルーフロンエコDX MID」は、平場用のレベリング性と立上り用のたれ抵抗性の両方のバランスを持った、中粘度タイプのウレタンゴム系塗膜防水材です。マンションの開放廊下、ベランダの巾木・側溝、勾配屋根等への施工に適しています。

特長



1. 特化則非該当製品

特定化学物質障害予防規則非該当製品で、ノンMOCAタイプウレタンゴム系塗膜防水材です。ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を取得しています。

2. 環境配慮タイプ

厚生労働省指針「シックハウス対象物質に関する指針」に指定されている化学物質「鉛」「クロム」を使用していません。

3. バランスのとれた中粘度タイプの防水材

平場と立上りの中間の粘度を有しており、平場用では流れてしまう勾配面や、高さの低い立上り面への施工に優れています。

4. 優れた塗膜性能

屋根用塗膜防水材 JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形に適合した塗膜性能を有しており、抜群の防水性能を発揮します。

荷姿

ブルーフロンエコDX MID

主剤 6kg

硬化剤 12kg※

(18kgセット) ※夏型、冬型があります。



用途

マンションの開放廊下、
ベランダの巾木・側溝、
庇・勾配屋根

塗料性状

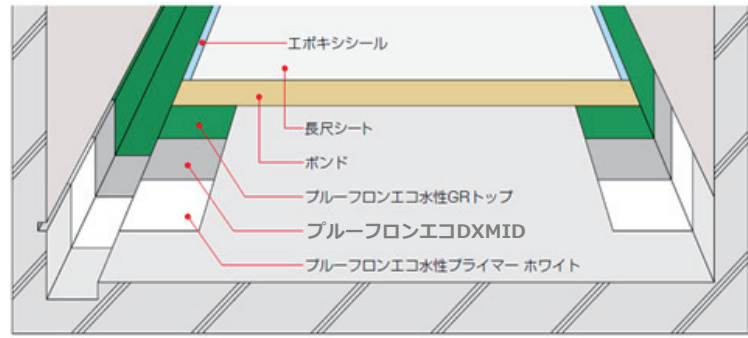
配合比 主剤：硬化剤	1：2 (重量比)
硬化物比重	1.3
混合粘度 (23℃)	18,000 mPa・s
可使時間 (23℃)	40分以内
施工間隔 (23℃)	18時間～48時間以内



◆主な適用材料

品種	品名
プライマー	ブルーフロンプライマー-S ブルーフロンプライマー-U NTエコプライマー-U ブルーフロン塗り替え用プライマー NT水性塗り替え用プライマー-U エポラオールプライマー 等
トップコート	ブルーフロンGRトップ ブルーフロンGRトップ遮熱 ブルーフロンGRトップエコ ブルーフロンEGトップSi ブルーフロンエコ水性GRトップ ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱 等

◆側溝・巾木・長尺工法図



[側溝・巾木・長尺工法]

工法名	工程	①	②	③
PF-DMW1.5WG		ブルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/m ²	ブルーフロンエコ DX MID 1.5kg/m ²	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/m ²

工法名	工程	①	②	③	④
PF-DM20WG		ブルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/m ²	ブルーフロンエコ DX MID 1.3kg/m ²	ブルーフロン エコDX MID 1.3kg/m ²	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/m ²

[庇]

工法名	工程	①	②	③	④
PM-DM20WG		ブルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/m ²	ブルーフロンエコ DX MID 1.3kg/m ²	ブルーフロン エコDX MID 1.3kg/m ²	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/m ²

■注意事項

■施工上の注意事項

- 施工に際しては、「ブルーフロンシリーズ」総合カタログの注意事項を必ずご確認ください。
- 塗料の調合、施工間隔、可使時間、使用量など塗装仕様は守って施工してください。なお、可使時間や施工間隔は、気温や材料温度により変わります。夏場は特に短くなりますのでご注意ください。
- プライマー、トップコート、副資材は選択可能です。「ブルーフロンシリーズ」総合カタログをご参照ください。
- 立上り面に十分な膜厚が必要な場合は、ブルーフロンエコDX NSをご利用ください。
- 「ブルーフロンエコDX MID」は、無希釈での施工をお勧めします。シンナー希釈は、特に立上り面の膜厚が確保できなくなり仕上りが悪くなる恐れがあります。
- 「ブルーフロンエコDX MID」は、「ブルーフロンエコDX」「ブルーフロンエコDX NS」との塗継ぎ、塗重ねはできますが、その他のウレタン防水材（ブルーフロンエコやブルーフロンバキューなど）とは直接には付着しません。プライマーなどの施工が必要となります。同一現場で他の防水材との併用は避けてください。

■取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は、ABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中とともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い作業中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。

- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときは、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。
- 取り扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、降雨や夜露、直射日光の当たらない換気の良い、室温5℃以下、35℃以上にならない冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 本製品をお取り扱いの場合は、消防法や労働安全衛生法などの法令を遵守してご使用、保管を行ってください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適切に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、または安全データシート（SDS）をご参照ください。

■お問い合わせ先